

- 現在のごみ・資源物収集事業費にメスを！市民利用の低下を招かず、事業費の削減案を問う
- 市民への情報ツール（市報・HP）の拡充を！

東大和市行政の財政難！市議会は財政難の問題追求と予算要望だけ、削減提案なしの他力本願な要望のみ！「変更案を提示」で行う12月の一般質問は、現状の市民サービスを維持しながらも予算削減可能な収集方法を提案！もちろん現在の収集方法よりも便利になる可能性を秘めている収集方法の変更案！

## 資源物収集方法の変更で約3352万円 カンガルー撤廃で247万円 合計約3600万円の削減方法提案！

**関野** 東大和市の現在の収集事業費は、

**職員** 平成20年度での清掃事業関連経費は、約11億400万円です。そのうち収集経費は約4億4300万円と約40%を占めております。

**関野** 本議会でも多くの議員が財政難に対して今後どうするかと質問をされています。私の質問は収集事業費を3000万円程度削減可能な方法です。そこでお伺いします。収集事業費が約4億4300万円、この内訳を教えてください。

**職員** 左記の表1を参照。

**関野** では、まず市長の削減案をお伺いします。

**市長** 現在の分別収集方法を残しながら収集事業費の削減を行うための考えは、資源のリサイクルを実行していくために市民の協力が重要です。このため集団回収の支援など実効性の高い施策を検討していくことが重要であると考えております。またさらなるごみ減量やリサイクルの進展のため、家庭での生ごみの堆肥化、資源物の集団回収等がございます。これらの活動を拡大していくとともに、排出抑制、再使用、再資源化対策を推進し、ごみの総量を減らし、ごみ処理事業費の削減に努めてまいりたいと考えております。

※これが、市の削減案です。最後は「市民が頼み」との答弁であり具体的な数字の削減案は無いようです。

表1  
ゴミ関連事業費総額 (21年度)  
約11億400万円

うち、収集事業費は約4億4325万円

収集事業費の内訳

●ペットボトル資源物	5543万円
●白トレー等収集	549万円
●資源物コンテナ配布	3352万円
●カンガルー収集	247万円
●容器包装リサイクル収集運搬	9479万円
●一般ゴミ収集	2億3064万円
●粗大ゴミ収集	1883万円
●動物の死体収集	207万円

**関野** 私が議員になって1年目の7年前から数回にわたり質問しています。また21年9月議会でも質問しましたが、その時は常時収集BOXを置いておくことが、歩道や道路等の交通に支障を来すや邪魔になる、また警察智との話し合いも必要との答弁がありました。では、収集BOXではなく網状の収集ネットを置くことはどうですか？

**職員** 杉並区では実際にネットを置くことはどうですか？

**関野** 杉並区では実際にネットを置くことはどうですか？

**職員** モデル地区では収集、コンテナでやってくださいましたけど、全地域の場合にしましてはですね、袋でやるというところでも今現在もそれを進めているというところもございまして、警察云々の話につきましてはですね、やはり場所を多くとるか、そういった点でのクレーム等の内容につきましては、やはり交通管理者のほうとも相談しながらやらざるを得ない問題もございまして、今現在は既存のステーションを使うというところでですね、先ほどの話ございましたとおり、他区の話と同様に私どもの範囲内で今やっているというところでございまして、

**関野** 範囲内でやっている。言っている意味合いが分かりません。単純に質問します。容器を置くのではなく、ネット状の袋を今後収集場に常時置いておくという収集方法は可能でしょうか。

**職員** 可能か不可能と言われれば可能だと思います。可能ですね。ところで市長はよく「簡素で効率的な運営を行っていかねばならない」と言われていますが、この方法をとれば今年の予算で3352万6000千円の契約が必要なくなり、予算削減になります。もちろん初期費用としてネットを購入しなければなりませんが、現在の拠点が1400カ所として、1カ所に3種類で合計4200ヶ所分。ネットは高く見積もっても1個5000円です。とすると初期費用で、1260万円程度かかります。そうすると、差引約1250万円の財源縮小が見込

め翌年度からは、3352万円削減できます。市長22年度から実施できませんか。

**職員** 資源物の収集につきましては、やり方は多々ございます。その中で今御指摘のございましたネット収集、それも一つの案だとは思いますが、先ほど申しましたとおりペットボトルに関しては袋収集、あと瓶・缶、そういったものにつきましては、瓶などは割れたりとか、そういう点もございまして、あと缶につきましてもですね、やはり資源物という分別ですからそれを出す形の中ですね、やはりネットに入れるというところの部分と今のコンテナの利便性、そういったものも加味しながら検討はしていきたいとは思っています。早く22年度からの適用というのは、ちょっと今は考えていません。

**市長** 今の御指摘のネット収集につきましては、現にこういう方法を行っている自治体もあると、それは私も認識をしております。その経済性、効率性も一定程度あるということも情報を得ております。今後とも担当の職員とも相談し、かつ市民ともよく連携をとりながら、この効果性、経済性を検討してまいりたいと思っております。

※結局、市長や職員は東大和の財政難を本当に認識しているのか、自分の報酬には影響が無いと考えているのか？それとも別の何かがあるのか？来年度実施の考えは無いようです。ですが、こんな事では引き下がりがありません、市側が思っている問題点の解決が必要ならばこの提案をぶつけてみました。

**関野** 道路上の問題やビンなどの問題があるとの答弁でした。本来であれば何度何度も質疑をおこない「実施する」との答弁が欲しいところですが、こちらの問題点を譲歩して、諸問題の無い場所なら行えますよね。例えばマンションや集合住宅です。マンションには、ごみ置き場等があります。集合住宅なら警察の問題もないはずですが、この場所なら実施出来るはずですが。それと、いつまでも検討ばかり行っているのは、仕事が進まず仕事量が増えるだけです。検討時間を短縮するのも仕事です。職員や市長が本気でこの財政難を建て直す気があるのかどうかを来年度の予算で見させていただきます。

現在の収集方法:このコンテナ配布だけで3352万円の予算がかかる



ネット収集だと、常時置いておくことで、いつでも捨てられ、その上で3352万円の予算も削減される



BOXから網製の物に変更！常時置いておく！  
この2点の収集方法変更で3352万円削減！

市政情報は、必要とする市民へ情報を届けなければ意味がない。市民への情報提供ツールの強化！新設を！（3度目の一般質問

提案）**財源は、収集事業費の削減案の実施で可能に！**

**関野** 市は市政情報に必要な市民へ提供できているか？また市政情報をどの様に考えているか？また必要と思われる市民への直接提供の考えは。

**市長** 市報は市民と行政を結ぶパイプ役です。市民に対して伝えたい情報をより正確に、より迅速に広く伝える媒体であると考えております。作成に当たりましては紙面に限りがあるので、より見やすく、かつまた読みやすく、わかりやすくなるような工夫に努めております。また市民への情報提供の必要性であります。行政情報の提供の基本は、行政情報をより正確に、より迅速に市民に伝えることでありまして、市民と行政の間に信頼関係を築くことでもあります。そのため市民が市政全般にわたる行政情報に関心をもち、かつまた市民間の情報交換、共有に役立つような情報の提供が必要であると考えております。次に、個人あて封筒等の活用の方でありますが、当市では市民に発送するさまざまな通知がございます。その中で市民税等の納税通知書を例にとりまして、納税通知書はその到達をもって賦課処分効力が発生します。そのため納めていただく市民税等について、その賦課処分の根拠となった法令、住所、氏名、税額、納期等が記載され、納付書が添付されています。また内容を納税者の方に理解していただけるよう、同封の説明文も1枚にまとめ、簡潔で見やすくするなどの工夫をしております。今後も同封物については最小限のものに限定してまいりたいと考えております。次に、市民への情報提供の今後の考え方でありまして。一般的に行政が住民に情報提供する場合は、広報する媒体を選ぶための五つの条件があります。浸透性、正確性、速報性、記録性、経済性の五つでありまして、それぞれ特性がありまして、すべての条件を備えている媒体はありません。今後も市報、ホームページを中心に、それぞれの広報手段の特性を生かし、効果的に市民へ情報提供を行いながら、よりよい市政運営に努めてまいりたいと考えております。

**関野** 今回が3回目の質問になります。どの様な検討を行いましたか？

**職員** 個人あて封筒の活用ですが、過去に一般質問でいただいております。市内で数多く発送したような文書の一つの市民税の納税通知と、これが一番代表的なものだと思います。そのほか福祉あるいは子ども生活等々の中で発送している文書もございます。けれども、検討の経過では、まだ結論という形で至ってございません。そのときいただいた内容の中で、各部各課の御意見を聞く中では、なかなかやはり発送する情報、そのものが目的を持って発送しているということ、その封書の中でも当然スペースは限られますので、それで情報をまず提供することが第1目的ということで、情報を共有させて発送するというのが、なかなか具体的に難しいのかなと、市内での話の中ではそこまでです。そこで、効率的に発送している他の自治体等の中ではなかなか効果を生んでいるという情報も得られなく、その後、今答弁申し

**関野** 他市の調査も細かく調べない、イメージがわからないから考えていない・考えられないとの事ですね。では、12月1日号の市報を例に話します。1面の高齢者福祉サービス等の御案内というのを載せてますが、この中に生活機能評価や筋力向上トレーニングの開催時期等があり、「詳細は対象の方に直接お知らせします。」とあります。この様な情報を直接対象者に知らせる方が効果的です。なぜ何度もこの様な提案をするかと言うと、予算削減や市民の地域活動の場を提供する為なのです。女性は基本的に社交的な方が多いので近所と方の面識はあるのですが、男性は仕事場と自宅を往復するだけで、近所の方との面識も薄いのです。定年を迎えて趣味などがあれば良いですが、趣味などが無いと、人と話す機会がありません。人と話さないと人間はうつなどの病気になりやすく、出歩かなければ筋力も落ちるのです。病気になれば病院へ行く。病院へ行けば個人の負担も増え、行政の保険料負担も増える。全てがマイナスになるのです。ですから、この様な情報をしっかりと知らせることにより元気なセカンドライフが送れる様になる。もちろん高齢者だけでなく、子育て世代も同じです。成人対象の情報（乳がん検診等）や児童対象の情報も対象者へ直接送れば、医療もそうですが、地域でのコミュニケーション構築などにも役立ちます。

**職員** 高齢介護のほうで例を幾つかいただきましたので、お答えします。大きく二つに分けて介護保険料の関係と生活機能評価の関係がかなりの高齢者の方に送っております。保険料につきましては、税の関係と同じように非常に特化した内容ですので、ほかのPRと一緒に入れるのは非常に難しいと考えております。しかし、生活機能評価につきましては、転倒防止の関係や、筋力との関係につきましては、少し検討の余地があるかなと考えております。

**関野** 是非、早急な検討をしてください。  
※その他、市報のレイアウトやデザインなどについても提言いたします。詳しくは関野たかなりのHPをご確認ください。

上げたような、それぞれの個人あて封筒の中には目的を持ったものに現状ではとどめておくというところで議論は止まっています。

**関野** 他市での調査で、効果を生んでいないとのことでしたが、どういったものを入れてるか調べてみますか？

**職員** 市民にお知らせする情報というのは、いろいろ市内での情報というのは非常に多岐にわたりますので、それを重複させて流す情報というのが、どうもイメージがなかなか整理できないということの中で、議論がとまっている状況でございます。

**関野** 他市の調査も細かく調べない、イメージがわからないから考えていない・考えられないとの事ですね。では、12月1日号の市報を例に話します。1面の高齢者福祉サービス等の御案内というのを載せてますが、この中に生活機能評価や筋力向上トレーニングの開催時期等があり、「詳細は対象の方に直接お知らせします。」とあります。この様な情報を直接対象者に知らせる方が効果的です。なぜ何度もこの様な提案をするかと言うと、予算削減や市民の地域活動の場を提供する為なのです。女性は基本的に社交的な方が多いので近所と方の面識はあるのですが、男性は仕事場と自宅を往復するだけで、近所の方との面識も薄いのです。定年を迎えて趣味などがあれば良いですが、趣味などが無いと、人と話す機会がありません。人と話さないと人間はうつなどの病気になりやすく、出歩かなければ筋力も落ちるのです。病気になれば病院へ行く。病院へ行けば個人の負担も増え、行政の保険料負担も増える。全てがマイナスになるのです。ですから、この様な情報をしっかりと知らせることにより元気なセカンドライフが送れる様になる。もちろん高齢者だけでなく、子育て世代も同じです。成人対象の情報（乳がん検診等）や児童対象の情報も対象者へ直接送れば、医療もそうですが、地域でのコミュニケーション構築などにも役立ちます。

**職員** 高齢介護のほうで例を幾つかいただきましたので、お答えします。大きく二つに分けて介護保険料の関係と生活機能評価の関係がかなりの高齢者の方に送っております。保険料につきましては、税の関係と同じように非常に特化した内容ですので、ほかのPRと一緒に入れるのは非常に難しいと考えております。しかし、生活機能評価につきましては、転倒防止の関係や、筋力との関係につきましては、少し検討の余地があるかなと考えております。

**関野** 是非、早急な検討をしてください。  
※その他、市報のレイアウトやデザインなどについても提言いたします。詳しくは関野たかなりのHPをご確認ください。

※その他、市報のレイアウトやデザインなどについても提言いたします。詳しくは関野たかなりのHPをご確認ください。

# 一般質問での提案から約2年。やっと実現。予算をかけずに出来る市民への情報提供ツール！



市長課（提案などの受け渡し場所）のモニター

一般質問から約2年。ついに実現。行政情報提供モニター（通称・コミュニティビジョン）。このモニターは、市内業者の広告や市報・HPに掲載している重要情報などを来庁者へ提供するサービスです。市内4箇所（市役所市民課・ロビー・保険センター・ハミングホール）へ設置されています。もちろん設置費用はなし（業者もち）設置・電力代なども予算ゼロです。この設置により、年間414千円の使用料を業者が払うシステムです。放映時間は、8時30分から17時まで。全21枠あり21枠を6分で一周する広告モニターです。21枠の内6枠が行政情報で、市報やHPの重要情報やその時期の情報が流れます。また議会開催半月前からは議会開催情報や傍聴お知らせなどが流れます。今はまだ、議会内のモニター設置ができていないのですが、今後は会派の代表者会議議会や広報委員会・議会運営委員会で全議員に働きかけて実施出来るようがんばります。しかし、この議会は全会一致が基本らしいのでいつになるか？あまりにも理不尽であれば多数決で強行するしかないのかな？とも考えています。この様に議会が用意できたらの事を思い、モニターに映像をここで流せるのか聞いてみたら、やはりその様な契約はないという事でした。議会が用意出来ていないのではないことだが、今回の契約更新（5年契約）の時は、議会情報が流れる時は議会の状況もこのモニターで流せるような利用も契約項目に入れて欲しいところです。それまでには、議会の録画・HPでの放映の設備化を議会に要望してゆきます。もちろん議会議員が納得してくればですが。



昭和48年10月14日 36歳  
身長184cm 体重78kg  
2003年 29歳・初当選  
2007年 33歳・2期目当選  
現在の役職  
政策の会 代表  
建設環境委員会委員  
その他、拉致問題会員  
全国若手市議の会 など